



# エコツアーリズムin積丹

2018年

9/1, 2

## 晴天の中、自然を堪能し自然を学ぶ2日間

積丹でのエコツアーリズムも7回目を迎えました。今回は大型の台風20号と非常に勢力が強い台風21号の間で、奇跡的な好天気にも恵まれた2日間でした。札幌学院大学の学生7名を含む20名ほどが参加しました。「日本の渚・百選」の1つである島武意海岸入口で昼食後、積丹町役場の担当者を待ちきれない参加者たちは開始時間を待たずに海岸へエントリーしました。上から見ると美しい積丹ブルーの海岸線ですが、浜に降りるとあちこちにプラごみが…。すかさず、ごみ袋を持たないまま大型のごみを集めました。その後、全員で1時間ほど清掃活動を行い、きれいな海岸になりました。回収したごみを船で運ぶ予定が、波があり不可能。今年もみんな急峻な坂道を登って、ゴミを運び出しました。



足場の悪い岩場での作業



きれいな海を見てやる気がみなぎる



毎年お世話になっているZemHouse



NPO法人 北海道海浜美化をすすめる会



# エコツアーリズムin積丹

2018年

9/1, 2

岬の湯で汗を流した後はダイビングショップ・ゼムハウスに移動。バーベキューで夕食。新鮮な肉や魚のグリルに満腹で、この後の勉強会大丈夫？

午後7時から宿舎である研修センターに移動して「海と生き物」—海水温上昇が海洋生物や水産資源に与える脅威—と題した「浜美化勉強会 in 積丹」を開催。小樽水産高校教諭の三島康裕先生が講演。地元の方たちと一緒に聴講し、終了後は先生や地元の方を交えて懇親会をし、貴重なお話をたくさんお聞きしました。

2日目、ゼムハウスで朝食。アワビや貝など積丹の味を堪能し、またお腹いっぱい。波が高くクルーズに向かないことから、ダイビング組以外は幌武意海岸の清掃活動。北海道新聞が取材に。この海岸も大量のプラごみが漂着していました。一つ一つの石が大きく、その間に挟まれたロープや漁網と奮闘。へとへとになりながらも回収しました。

活動後は、シーフードカレーを頬張ってお腹を満たし、岬の湯で汗を流して2日間の積丹半島を後にしました。



環境勉強会 三島先生の講座



勉強会の後は、懇親会も



ほろむい 幌武意海岸での清掃

